

「はれ」と「け」の 世界観

岡山県立倉敷工業高等学校 資格検定指導室 資格検定NEWS



「はれ」と「け」

岡山県は「晴れの国岡山」のフレーズで知られ、自然の恵みに溢れた、穏やかな県として認知されてきました。

「はれ」という言葉は「晴れの日」「晴れ着」や「晴れ姿」といった清々しさに結びつきます。

一方で「け」は認知度がやや低い言葉です。

皆さんは「け」という言葉を使いますか？

ハレ（晴れ、霽れ）が結婚式などの儀礼や祭、年中行事などの「非日常」を表すのに対して、ケ（褻）は普段の生活である「日常」を表すとされます。

考えてみれば、日々の生活は、圧倒的に「け」の生活です。「け」の生活で過ごす時間が多いからこそ、「はれの日」を楽しみに、「はれの日」が良い日であるように頑張っていくことができているのかもしれませんが。「雨はいつかは上がる。」「朝の来ない夜はない。」と思えるからこそ、困難を「け」に変え、何度かの「はれ」を待ち望むのでしょうか。

日常生活を大切にして、「特別な日を楽しみましょう。